鹿児島県認知症グループホーム連絡協議会　いずみ川薩支部

平成２８年７月９日

夏期講習会「職員を守る職場に～ストレスを上手に解消するための対策～」

講師：日本プロフェッショナルキャリアカウンセラー協会室長　森園仁美先生

アンケート結果　　参加者　62 名　　アンケート回収 56 名　　（出水会場）

１．この研修に満足しましたか

①大変満足　33 名　　②満足　22 名　③ふつう　１名

２．この研修を今後に生かせますか

①　大変活かせる　　26 名　②活かせる　２７名　　③ふつう　２名　④やや活かせない　１名

印象に残った点

- 満足・不満足の関係性について勉強になった
- ストレスをためないために、自分はよくやったと尊権する。些細なことでもお互いに褒め合う。仲間同士で褒め合う・共感する
- コミュニケーションについて
- 利用者さんの名前を言って挨拶する
- 仲間同士認め合う。ストレスは一人一人違う
- ウォーカー対ト―カーがあること
- クレームもとり方でプラスになる。自分の尊重
- 書き出すこと・自分の気持ちを伝える人を見つける
- 個々の考え方・対応で結果につながっていく
- 期待に対して受けられない時、不安になり攻撃的に言成ること・クレームについて・コミュニケーションは働きかけ、引き出す力
- ストレスにはいろんな要因があること
- 働きかける力引き出される力に強く興味がわきました、言葉を大切にしたい
- 自分の傾向を振り返る・考える
- 傾聴のポイント・職場のコミュニケーション
- 具体的にほめる
- 利用者だけではなくスタッフ間も褒め合う・そして自分も褒めたい
- 相互理解
- 言葉かけ・一日の出来事を記入する
- 「良いかげん」
- 自分自身でため込まず嫌なことがあったら思い出してみる
- 相手に自分御意見を伝えるときどんなふうに働きかけるか、それによって力が引き出され、それがコミュニケーションになる
- ト―カーの特性
- 学んだら実践する

- 思考の外在化・職員同士で尊厳・支えあう。共感
- クレーマーの方もアグレッシブだが自分たちにとって改善につながることもある
- まずは、あいさつから
- いままで利用者の尊厳は大切にという思いでやってきたが、自分の尊厳について考えたことがなかった
- **職場内で話すことができない（愚痴）と思っている時期でした。ウォーカーです。パワハラに悩んでいます。**（２年目職員）
- 話し方が素敵でした。ありがとうございました
- 記憶を記録に残す。毎日は無理でも疲れや辛い時を思い起こし、幸せを感じることができる

＊内容や進行について
・短い時間でしたがとても勉強になりました。
・声のトーンが聞きやすかった
・聴きやすいスピードと分かりやすい内容
・話が興味深く面白く聞かせていただきました
・大変にわかりやすかった
・もう一回じっくり聞きたい
・大変に聞きやすい話で眠くならなかった
・時間がとても速く感じた。できればもっと聞きたかった
・笑いを交えての話。ありがとうございました
・時間が足りないように思えました

＊今後どのような研修を希望しますか
・接遇について
・もっと詳しく時間をかけて聞きたい
・第２回、３回をお願いします
・認知症について
・上手な人間関係の作り方
・チームケアについて

とても良い研修で皆さんとても喜ばれていました。アンケート結果をお送りします。アンケートの中にどの事業所の方かはわかりませんが、悩んでいる様子が見てとれました。今回の研修をきっかけに乗り越えてくれたらなーと思いました。

主催者感想